



# 道農連 2018年4月の月間活動トピックス

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

## TPP11協定の国会批准反対など春闘方針を決定／第2回執行委員会

道農連は4月17日、第2回執行委員会を開催し、春闘の基本農政対策方針や業態別運動方針などを決定した。春闘：基本農政対策では、TPP11及び日EU・EPA協定の国会批准反対運動の推進をはじめ、農業・農協改革対策（関連法案対策含む）、31年度予算概算要求対策、真の農政改革の検証の4点を柱に運動を進めることを決めた。

業態別対策では、6月に開催する各対策委員会で、政策提言項目をまとめ、6月29日の第3回執行委員会で最終決定する。

## 北海道独自の主要農作物種子条例制定を

道農連は第2回執行委員会において、主要農作物種子法廃止に伴う道産種子の生産及び普及体制の確立に向けて、新たに「北海道主要農作物種子条例」の制定を視野に運動を進めることを決めた。

今後の具体的取組みについては、道庁農政部との意見交換を踏まえ、6月以降の市町村議会（第2回定例会または第3回定例会）における要望意見書の採択運動を図るとともに、道議会各会派へ要請を行う。

## TPP11協定批准反対の緊急要請行動を実施

道農連は第2回執行委員会において、TPP11協定承認案が早ければ4月中にも衆議院を通過する可能性があったため、衆議院議長及び外務・農水委員長、道選出国会議員に対し、批准反対を求める緊急要請行動を各地区・市町村組織から実施することを決めた。

これを受けて、徹底した審議を行うとともに、日本農業に多大な影響を与える安易な承認は行わないことを求めた。

なお、参議院に対しては、審議を見ながら同様の要請行動を実施する。

## 道農業青色申告会第9回総会を開催

道農連や道中央会などで構成する道農業青色申告会（会長：中原浩一・道農連書記長）は4月6日、札幌で第9回定期総会を開催し、中原会長が再任された。

また、総会後に税研修会を行い、札幌国税局、北海道税理士会の担当者より講演を行い、税制改正や相続時精算課税制度などについて学習を深めた。

## 天北地区農連総会で井田委員長が再任

天北地区農民連盟（井田和明委員長）は4月10日、第46回定期総会をJA稚内会議室で開催した。総会では、平成29年度活動報告及び30年度の運動方針などを承認。役員改選では、井田委員長と中島書記長が再任され、副委員長には梅津孝行氏が新たに就任した。

総会終了後には、「農業災害補償制度に関する学習会」を行い、NOSA | 道央宗谷支所の担当者より、制度の見直しに伴う家畜共済の取扱いなどについて説明した。

## 4月の活動記録（上記以外）

- 2日 道農業青色申告会会計監査
- 9日 道てん菜協会企画調整部会
- 11日 道「農」ネットワーク事務局会議
- 16日 卸売市場法改正案など説明会
- 17日 三役会議
- 18日 Jミルクブロック会議
- 23日 種子法廃止後の対応に関する農政部との意見交換  
第1回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会  
楽酪GO事業説明会
- 24日 アジア・アフリカ支援米作付け農家との打合せ
- 26日 ホクレンH30年度補助事業に係る説明会

## 5月の活動予定

- 1日 第89回全道メーデー大会
- 9日 道てん菜協会大型全自動播種機実証視察研修（～10日、津別町）
- 22日 各地区事務局会議
- 24日 道てん菜協会定期総会・理事会